



NO 1 2 5
 H 9 年 11 月 1 日
 一 発 行 一
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100

新しい出発

施設長 田中 稔

十月に入って施設の周りの景色も、すっかり秋目いて、施設の建物が黄金色の稲穂の波の上に浮かぶ船のように見える今日この頃です。

お気づきになられたでしょうか。私の名称が変わりました。この二年間、医院と施設を兼務しながら毎日この施設の周りの、季節と共に移り行く景色を、ゆったりとした気持ちで楽しんで来ました。

兼務は、行政的にも認められないうことが分かっていましたから、どなたか適任の方がおられれば施設をお任せするつもりで、各方面にお願いしておりました。自閉症のように、医療と福祉の境界領域にあるような障害を預けられる方がなかなか見つかりません。この9月に監査を受けて、どちらかを選択しなくてはならなくなりました。

ました。

三四歳で医院を開業し、四四歳で施設を作り、今、五四歳です。

一〇年一区切りの人生を歩んできたようです。何かよく分からないものに導かれて、こういう人生が私の人生の定めであったのではと思えるのです。

施設と医院とどちらを選ぶかと言われれば、医院はたくさんありますが、私の子供がいる施設は、掛け替えのないものです。

今、施設は一〇周年です。いろいろなことが、あたかも最初からそういうように決められていたかのように、移行期にあります。

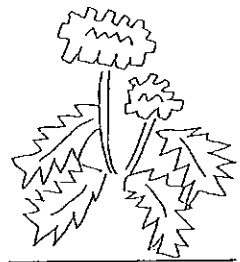
一つや二つではなく、将棋の駒が自然に全体の流れの中でそこにあり、そういう働きをして全部が動いて勝負が動いていくように、人生が動いているような、そんな気がするので。決して、計算しつこうなつたという人生ではないように思います。

ように思います。

お蔭様で、いろいろな方々のお力添えによって、私が言うのも変かもしれませんが、いい施設が育ってくれています。私が育てたのではなく、育ってくれているのであります。

さて、私のこれからの仕事は、子供達の人生を見取って、最後にこの子たちが、ここで生活して良かった、いい人生を生きた、それによって私たちも生かされたというような、そういう生活の場には三気の里がなりたくない、ということではないかと思っています。

新しい出発の時です。



気 - げん - 気 - 二ん - 気 - のん

▽西高東低の冬型の気圧配置が強まり、阿蘇山上に初雪との便りが飛び込んできた。平年より十日以上も早いようだ、今年の寒さは厳しいのだろうか。

▽田圃は稲刈りも済み、葉の口ルが転がるようになった。麦の植え付けが始まる短い期間だが、その中でキャチボールに興ずる子供たちが目に付いた。しばらくは大きなグラウンドを得た彼らも気兼ねなく走り回る姿が見られる事だろう。

▽熊本県愛護作品展示会が、11月15日16日の両日西合志・農業公園で開催されます。三気の里でも展示販売を予定しております。是非ご来場ください。

▽12月23日クリスマス音楽会が行われます。熊本マンドリン協会の方と我が三気の里の音楽クラブ・ミュージックベルの精鋭達によるジョイントコンサートです。スタッフは緊張しながらも意欲的に準備を進めています。そこで当日のお手伝いをお願いしたいのですがご協力いただける方ご一報下さい。



班 ニュース

1 班 - 秋桜

秋真ただ中の10月9日、一班総勢21人でヒゴタイ公園のコスモス狩りに出掛けました。天気恵まれ、空は抜けるように蒼く、空気が澄んでいて絶好のピクニック日和です。高原での秋は、下界よりも早いようで、一面のコスモスが、もう半ば散りかけていました。それでもまだ随分の花があり、私たちは、迷路のようになった花畑を通り抜け、阿蘇五岳が一望に出来る小高い丘に腰を落ち着け、途中で買ったお弁当のカレーライスを広げます。のんびりと、花見をしながらのカレーライスはまた格別です。食べた後は高田指導員の出番です。「あっ」と言う間におやつが入っていた段ボール箱を解体し、起用に「ソリ」を作ってしまった。これが皆にとてもウケました。建治郎君は下り坂を走って追いかけて、「次は自分がするんだ。」と、高田指導員に詰め寄っていました。段ボールに乗った後はなかなか離れようとせず、長いこと一人で遊んでいました。いつもおとなしい建治郎君の意外な一面を見た気がします。

それから私たちは、近くのロッジ村周辺の小川を散策したり、ある人は花畑の近くに寝そべて流れる雲や、風に揺れる草木をのんびりと眺めて過ごしたりしました。

秋の日、こんな過ごし方もまた一興ですね。

坂本

3 班 - 晩秋

周りの木々も赤や黄色と鮮やかに色を変え、ドライブに登山にと外出するにはよい季節となりました。そのような中、私たち3班(木工班)は、去る10月15日(水)に三気の里ではお決まりのコースでもある河内町にある優峰園フルーツセンターへ、梨・みかん狩りに行きました。

三気の里ではお決まりのコースといっても、私たち3班が行くのは初めての試みで、出発する前は「みんな食べてくれるかな?」という不安でいっぱいのまま優峰園へ向かいました。そのような不安を胸に途中、バスの車窓から何色もの絵の具をこぼしたように色鮮やかな山々の景色を眺めながらのドライブ、秋を感じる一瞬です。そんなこんなで優峰園へ到着、その後すぐに梨園の下でのお弁当、それよりも早く皆の右手には大きな梨、私の不安も吹っ飛びました。お弁当も食べ終わりいよいよ梨狩り本番。両手に抱えきれないほどたくさんもってくる人、皮もむかずその場で食べる人もいれば自分で上手にナイフを使って食べる人もいたり、梨が嫌いな人も「このリング美味しいよ」と言う美味そう?に食べる人と、楽しみ方はそれぞれ違いましたが皆で秋を満喫した一日となりました。山口

4 班 - 晩秋

11月もまじかに迫り、瞬く間に冬到来と言った気候に身も心も思わず縮んでしまいます。皆様、風邪などひかれていないでしょうか?

農耕班の皆様は…と言いますと、いよいよ作業がおっくうになる時期のためか心なし少し静かです。思いっきり“北風なんて”と吹き飛ばして欲しいのですが、年を重ねるとそうも行かないようです。さてさて、冬を迎えるとはいえ、作業は忙しくやってきます。秋の酸味の芋掘りを筆頭に、種蒔き・水まきと次から次にやってきます。つい先日は、芋の試し掘りをし、試食会を行いました。例年に比べると幾分身の入りはいいようなのですが、少々味にむらがある様な。…ともあれ、皆が頑張って作った芋ですので、きっと美味しいと思います。

ここで、芋を美味しく食べるポイントをそっと教えましょう。農耕班の皆の顔を思い浮かべて下さい。にやけた顔・怒った顔・笑った顔・頑張っている顔…ネッ!美味しいでしょう。早く皆様の食卓にもお届け出来るよう頑張ります。

麻生由

2班・宿泊レク in 宮崎

10月22～24日、我が2班のメンバーは宿泊レクレーションに出掛けました。行き先は宮崎！7月に予定していた海水浴を兼ねた宿泊レクが大雨の為中止となり、皆にとっては待ちに待ったレクとなりました。内容はというと、豪華コテージに宿泊、オーシャンドーム・シーガイアで思いっきり楽しむというものでした。今回の準備から出発、レク中にかけて事件や楽しい事がたくさんあり過ぎて、書ききれません。そこで今日はレク中の皆の思い出や感想を紹介したいと思います。

「波のプールがおもしろかった」さゆりちゃん、まーちゃん。「大好きな砂野さんと田之上さんと旅行できた事」たちちゃん。「イルカのオルゴールを買えた事」由布子ちゃん。「食べ過ぎで下痢になった事」文ちゃん。「疲れて熱発しました」さとちゃん、博美ちゃん。「カツカレーがおいしかった」岩下くん。「観覧車が怖かった(パンクした)」まこちゃん。「シーガイアでのナイトショーのお姉さんがきれいだった」宣陽くん。「ジュースが飲めて大満足」博くん。「お土産選びが楽しかった」幸恵ちゃん、民くん。「補聴器をなくしたと思い大騒ぎしました」あすからちゃん。「ぼんたんあめ。(買ってきたお土産?)」泰彰くん。「インスントカメラを買った事。(これは買ってきたもの、どこで買ったものを、買ってきたお土産?)」忠ちゃん。と、それぞれに楽しい思い出ができたようです。

さむーい冬はもうそこまで来ています。さあ、ネット作業に励むぞ！

佐藤

5班・梨狩り

幼いころ、紅葉狩りとは、紅葉を鑑賞するものと教えられ驚嘆し、それならば梨狩りも、ただ梨を眺めるだけのものかと思っていました。ましてや都会育ちの私はこの年になるまで梨の木を見たこともありません。故に10月の班のレクで某所へ梨狩りに行くと言った瞬間から眠れない日々が続きました。

当日、到着してみると、そこは何か胡散臭い緑日の出し物小屋のようでした。山道を抜けみかんが植えてあるところに着き、口にしてみると、酸っぱくてとても食べられません。奥へ行くと梨らしきものがあり、そこには案内人のお婆さんが一人佇んでいました。一人700円の入園料を取り戻すために、一人最低5個食べることをみんな誓い合い、驚異的なペースで食べていると、5、6匹のスズメバチがやって来て、梨や包丁に群がり始めるではありませんか。数日前のスズメバチに刺された死亡事故が頭をよぎります。お婆さんは「大丈夫。絶対刺さない。」と言っていますが顔は引きつっていました。作戦は中止です。全員撤退。そうした中でも一人で5個食べたX君には、表彰状を渡したいくらいです。帰途、車を運転しながら、もしかしたら、あのハチは梨をあまり食べないように訓練されているのではと想像しました。

来年、ハチへの対策を考え、今回の分を取り戻すために再チャレンジしたいと思います。ノルマは一人10個です。



受け止める

木下 昭二

先日新聞やTVの報道の中で興味深い内容のものがありません。

その内容は、「息子の家庭内暴力に耐え兼ねた父親が、金属バットで息子が寝ている間に撲殺してしまう」という事件の判決公判の結果でした。この結果を見聞きして、どうしてこのような悲惨な結果に為らざるをえなかったのかと私なりに考えていた時、いつの間にか、自閉症や知的障害の子供を持つ「親」と置き換えて考えていました。家庭内暴力はバニックとして考えるとそう難しい置き換えではありませんでした。(勿論、自閉性障害や知的障害を持つ人達すべてがこれに当てはまる訳ではありません。)

この事件を起こした父親は、有名大学を卒業し新聞社で働いていたにもかかわらず、息子の家庭内暴力が始まって間もなく、その暴力を受け止めようと仕事も変わり、カウンセリングの資格を取ったり、自分がカウンセリングを受けたり、宗教的な信仰を続けたにもかかわらず

ず、息子の暴力的行動はおさまるところか、余計に激しさを増したため、妻と娘を暴力と精神的疲労から守るため別居させ、父一人で息子の暴力に相対しているうちに、とうとう父も耐え切れずに起きてしまった事件との報道(一部抜粋)でした。

幸い、三気の里のお父さん達からはバニックが基でのそう言った話は私は伺った事はないが、もっとじっくりと腰を据えて話をする機会があれば、(そういった事もあるのかもしれないし、もしなければ、まだ十数年ながら、三気の里がそれだけ一つのクッション材として役に立っているということかもしれない)。

この事件に関連してもう一つ話したかった事は、カウンセリングの大切さや意義について。報道で挙げられていた部分は、長期にわたるカウンセリングの中でのほんの一部であろうが、その中に「家族も大変でしょうが、息子さんはもっと大変で苦しんでいます。受け止めてあげてください。」との件が出てくるが、はたして息子の暴力を、発作的な行動ながら「死」という形でしか受け止められない。

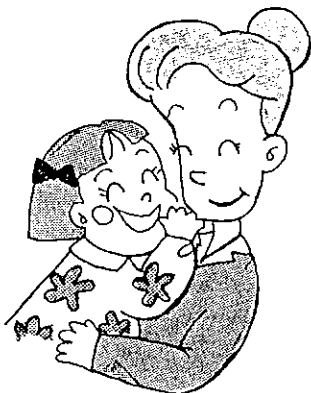
とまで考えるようになった父に、本当にこのアドバイスが適切であったのか、全体のほんの一部しか知らずに言うのも変かも知れないが疑問に思えた。と同時に、カウンセリングの難しさを改めて感じさせられた事件でした。

前述のような表現をしておきながらこういう言い方も変ですが、私達指導員も、知らず知らずのうちにカウンセラーのようにして保護者と話している事があります。

ずっと以前は、お母さん達や外部から療育相談に来られる保護者の方々から連った意味で、「(この子がまだ小さい頃)この子を連れて何度も死のうと思いました。」と言うような内容の話は幾度となく耳にする事がありました。今思えば、たいした言葉もかけられずただ話にうなずくだけでした。それだけでも何らかの形で、受け止めや気休めにはなったのではと信じています。最近はそのような話も聞かなくなりましたが、お母さん達が「過去の痛い思い」として封印してしまわれたのか、職員がそこまで近づけていけないのか、もし

字には残らなくても、心に残る話を聞いて共に勉強しなければと反省する次第です。

今回テーマを、「受け止める」として一つの事件の判決公判を挙げて書いてきましたが、受け止めるの難しい生き続けてこれた「園生」と、死んでしまった事件の「息子」とにどんな違いがあったのか、書いていくうちに、だんだん解らなくなってきたというのが正直な所です。しかしこのことについては、これからも園生一人一人を受け止めていく三気の里の一員としてまた、父親一年生の私にとって、解らないでは済まされないことなので、今後機会があれば保護者の方々や他の職員に話を聞いていく中に、自分なりの答えを見出せたらと思います。



秋の登山

広瀬 美紀

秋も深まり、紅葉が私達の目を
楽しませてくれるこの頃ですが、
皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、去る10月17日から18日に
わたって、秋の登山が行われまし
た。目標地は、A・Bグループが
宿泊で久重山へ、またC・Dグル
ープは、弥護山でした。私自身、
登山が初めてで、しかもBグル
ープだったので、登山がある1カ月
程前から登山の事で頭がいっぱい
になる程不安でした。しかし、い
ざ登山が始まると、確かにきつい
のですが、目の前に広がる紅葉が
心を和ませてくれ、いつしか「楽
しい登山」となっていました。B
グループのみんなも、立ち止まっ
てしまうこともありましたが、最
後まで、職員に励まされながら、
(時には、職員に「待ってー」と
言われながら)頑張って歩くこと
ができました。



今回の登山は、みんなの「頑張っ
ている姿」に感心させられた1日
でした。

ラーメンピクニック

満原 千保

去る、10月19日(日)に熊本市
黒髪にあるライト記念老人ホーム
にて、ボランティア仲間九州ラー
メン党主催による「ラーメンピク
ニック」が開催されました。三気
の里からは、14名の園生と5名の
職員が参加しました。当日は、天
候にも恵まれ、真夏のような日差
しの中、各施設、ボランティアの
方々によるステージ発表や、展示
即売コーナー、露店販売コーナー
など、思考をこらしたイベント
が設けてあり、盛り上がりを見せ
ていました。ところで参加してい
た皆の楽しみといえば、もちろん
昼食に出てくるラーメンだったに
違いありません。ラーメン党の方
々が心を込めて作ってくださった
ラーメンは最高においしく、皆の
顔に笑顔が見られ、大満足といっ
たところでした。(かき水、タコ
焼きもおいしかったね。)

また、ラーメン党の方々には、
三気の里の開園祭時に来園して頂
き大変お世話になっております。
これからもおいしいラーメンをお
願いします。(園生、職員一同)
最後に、当日はラーメン党の皆

様、暑い中大変お疲れ様でした。
おいしいラーメンありがとうございました。

第11回全国自閉症者施設協議大会

石井 康就

去る、10月23日、24日にかけて、
広島県三次市で第11回全国自閉症
者施設協議大会が行われました。

今回三気の里からは、田中施設
長、高橋、高田、石井の4名が参
加させて頂きました。

大会前日の23日には、今大会開
催担当施設でもある、ともえ学園
様にお忙しいとろ御無理をいって
施設見学をさせて頂き、ありがと
うございました。

大会当日、午前中は日本自閉症
協会、江草安彦会長の講演があり
ました。テーマは「障害者福祉施
策の動向と自閉症問題」について
で、日本の自閉症者の実数の把握、
地域のボランティアの必要性等につ
いて語って頂きました。午後か
らは、格分科会に別れて、それぞ
れのテーマに基づき熱い議論が行
われたようです。

今回の大会の内容は地域との関
わりが主なもので、今後この研修
で学んだことを三気の里で生かし

ていきたいと思えます。
最後にこの会を開催するにあっ
たって、準備に携わってくださっ
た方々に感謝申し上げます。

食生活改善中

10月17日登山があり、私はBグ
ループに参加しました。A・Bグ
ループは宿泊。九住山の宿泊登山
に参加するのは2回目でした。登
山はきつかったのですが、2回目
ということもあり、途中途中で周
囲の景色を見る余裕もあり紅葉を
楽しむ事が出来ました。風も冷た
く気持ち良かったです。今回は他
の登山者も多く、途中混雑して前
に進めない状態になったりしま
したが、みんな無事登山出来て良
かったと思いました。 堀尾



11月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
10/30 文化の日 11/5 3期レク 11/12 2期レク 11/18 4期レク 11/19~21 1期レク 11/26 5期レク 11/8 保護者会					1	2
11/9 福祉の集い・からいもフェスタ 11/22 帰省バス 11/23 勤労感謝の日 11/28 たんぼ収穫祭					8	9 福祉の集い からいもフェスタ 有田さんの誕生日(56)
11/3 俊ちゃん・有田さん・藤本さん・行武さん・米田くん・魚谷くん誕生日おめでとう!						
3 文化の日	4 俊ちゃんの誕生日(31)	5 3期レク	6	7	8 保護者会	9 福祉の集い からいもフェスタ 有田さんの誕生日(56)
10 からいもフェスタ	11	12 2期レク 藤本さんの誕生日(30)	13	14	15 作品展示会	16
17	18 4期レク	19	20 1期宿泊レク	21	22 帰省バス	23 勤労感謝の日
24 振替休日 行武さんの誕生日(21)	25	26 5期レク	27	28 たんぼ収穫祭	29 米田くんの誕生日(22)	30 魚谷くんの誕生日(29)



ボランティア通信

生け花の西村さん、ブラッシング指導の森さん、散髪の坂本さん・田端さん・源造さん・松尾さん・中武さん毎月お世話になってます。

先日岩下くんと坂本理容に行ったときのこと。偶然にも他のお客さんがなく、田端さんとゆっくりにお話する機会がありました。

「やっぱり、経験をつんでどんなものなのかを知ることが大切なんですわ」との言葉から始まりました。ボランティアで三気の里に来られる度に、何人もの散髪をされて来られた中で、個々が場に応じた行動をとれるようになって行くのを実際に目にされてきた感想だったようです。最近では博美ちゃんの成長が目につかれたようで、「博美ちゃんも初めは椅子に座っていられず先生方が2人で横から支えていたのに、この間行った時は、「おいで」と手招きされて自分で椅子に座り、時々動いても散髪しているから」と言うときちんと座り直してたものね!」と言ってもらいました。ボランティアさんが初めは三気の里と言う場所

はありますが、皆に経験を与えて来てくれた結果です。本当にありがとうございます。P.

☆散髪 源造 順・田端美智子

☆生け花 中武 優・松尾 博美

☆ブラッシング指導 西村 栄子 森 孝子

新入園生紹介

藍さん

10月から園芸班のメンバーになりました藍さんです。歌うことが大好きです。お話することも好きなので、皆さん沢山おしゃべりしましょうね。よろしくお願います。



退所のお知らせ

五月ちゃん

9月30日、三気の里を卒業しました。10月からは家のお手伝いを頑張りたいと思います。皆さんお世話になりました。